

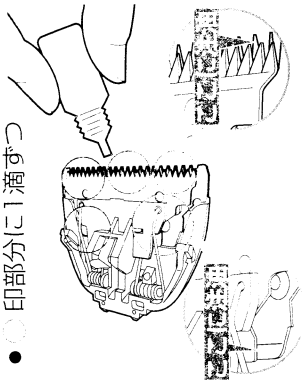
使用上のご注意

注意

- ご使用前に刃に必ず注油をする。守らないと髪を引っ張り肌を傷つける原因になります。

注油をする(5カ所全て)

- 印部分に1滴ずつ



※注油をしないと

- 切れ味が悪くなる。
- 使用時間が短くなる。
- 刃が摩擦・焼きついたりして寿命が短くなる。
- 音が大きくなる。
- 刃の動きがにぶくなる。

※注油は、付属のオイルまたは専用オイル(別売)をご使用ください。

- ※刃の取りはずしは(P30参照)

ご使用中および充電中は本体が多少熱くなることがありますが、性能には影響ありません。

アタッチメントご使用の場合は、正しく取り付けられていることを確認する。

- ※髪の切り過ぎの原因になります。

本体は、シンナー・ベンジン・アルコール

などではふかないでください。

- 故障や部品の割れ・変色などの原因になります。
- 薄めの石けん液でふいでください。



ペットには使わないでください。

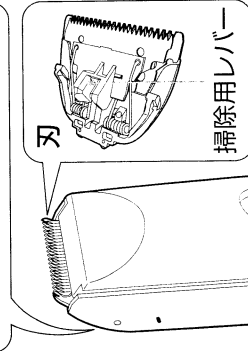
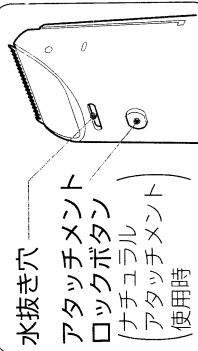
整髪剤をつけたり、髪がぬれた状態で使わないでください。

湿気の多い場所に置かないでください。

小さな子供の手の届く所に置かないでください。

各部のなまえ

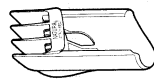
本体



充電表示ランプ (Charging indicator lamp)

アタッチメント

ナチュラルアタッチメント (Natural attachment)



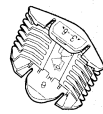
スキ刈りアタッチメント (Skimming attachment)



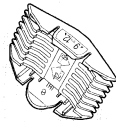
購入時に本体に取り付けられています

刈り高さアタッチメント (Trimming attachment)

3mm/6mm



9mm/12mm



付属品

オイル (Oil)



掃除用ブラシ (Cleaning brush)



充電器 (Charger)




コード (Cord)

アダプター (Adapter)

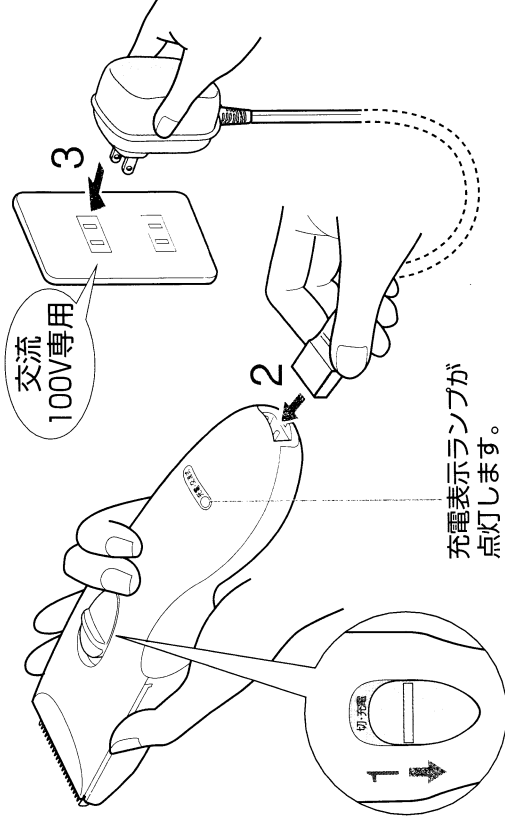
器具用ブラグ (Tool bag)

使用上のご注意／各部のなまえ

充電のしかた

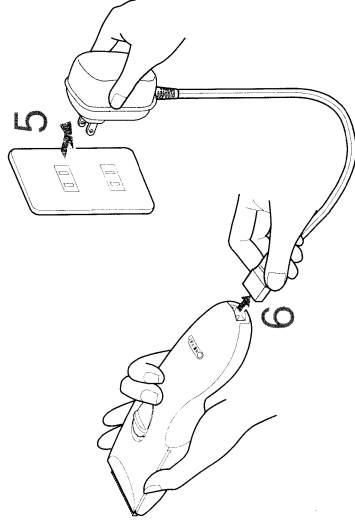
 <p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> 必ず交流100Vで使用する。 守らないと感電・発火のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ぬれた手でアダプターをコンセントから抜き差ししない。 感電のおそれがあります。

- 1 本体のスイッチを「切・充電」にする
スイッチ「入」では充電できません。
- 2 本体底部のソケットに器具用プラグを
しっかり差し込む
- 3 コンセントにアダプターをしっかりと差し込む
※必ず充電表示ランプの点灯（赤色）を確認してください。
- 4 約8時間充電する
(8時間を過ぎても充電表示ランプは点灯し続け、消えません。)



1回のフル充電で約40分間使用可能です。

- 5 充電が終わったらアダプターを
コンセントから抜く
- 6 本体底部のソケットから
器具用プラグをはずす

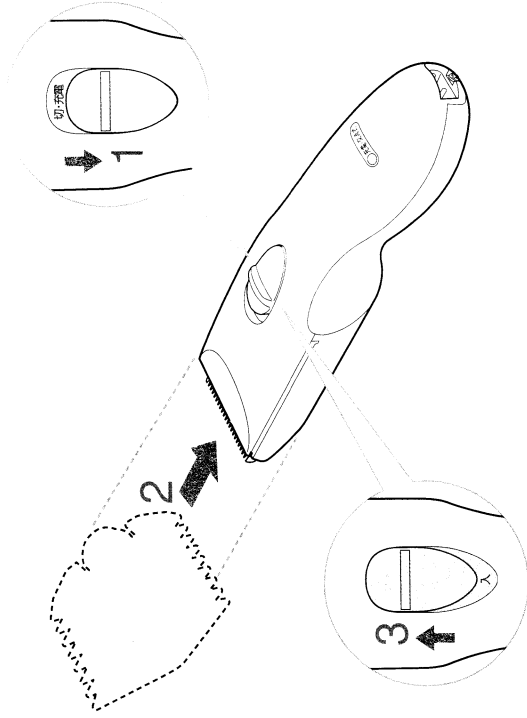


- 器具用プラグの着脱は、コード部分を持って
行わないでください。

- 初めてお使いのときや半年以上使われなかつたときは、充電完了後も
続けて合計約16時間充電してください。電池は化学反応により電力を
供給するもので、長時間放置すると充電されにくくなるため(不活性化
状態)、活性状態に戻すのに約16時間の充電が必要です。電池が不活性
状態になっていると、充電開始後数分間、充電表示ランプが点灯しない
ことがあります。そのまま充電すると充電表示ランプが点灯します。
充電および交流式でのご使用は専用の充電器を使用してください。
- 周囲温度は必ず0~40℃以内で充電・使用してください。
- 充電・ご使用中、テレビ等に雑音が入る場合、別のコンセントで充電し
てください。
- 充電器のコードが破損した場合、コードだけの交換はできません。
販売店またはパナソニック電工お客様相談窓口にご相談ください。

充電式での使いかた

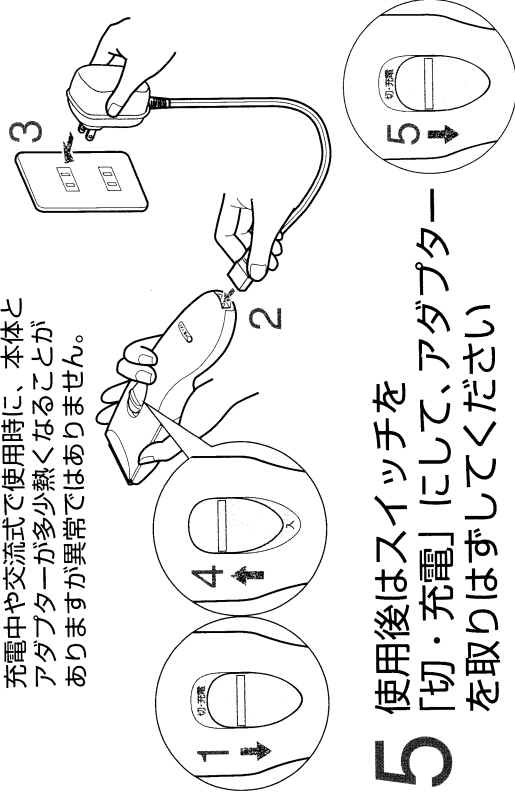
- 1 スイッチが「切・充電」になっていることを確認する
- 2 必要に応じてアタッチメントを取り付け
アタッチメントご使用の場合は、アタッチメントの種類や取り付けたが正しいかどうかを確認してください。(P12~14参照)
※髪の切り過ぎの原因になります。
- 3 スイッチを「入」にして髪をカットする
ヘアークットのしかた(P15~29参照)



交流式での使いかた

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 必ず交流100Vで使用する。 守らないと感電・発火のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流式では風呂・シャワー室での使用や水洗い掃除を絶対にしない。 感電・発火・ショートのおそれがあります。

- 1 スイッチが「切・充電」になっていることを確認する
- 2 本体底部のソケットに器具用プラグをしっかりと差し込む
- 3 コンセントにアダプターをしっかりと差し込む
※ 必ず充電表示ランプの点灯(赤色)を確認してください。
- 4 スイッチを「入」にして髪をカットする
※ 蓄電池の充電残量がない、または少ない状態で交流式で使用されますと起動しにくい場合や、最悪動作しないことがあります。そのような場合約1分以上充電してからご使用ください。
※ そのような場合約1分以上充電してからご使用ください。
※ 充電中や交流式で使用時に、本体とアダプターが多少熱くなる場合がありますが、アダプターが異常ではありません。



刈り高さアタッチメントについて

- 用途 ▶ 丸刈りやスノン仕上げ
- 機能 ▶ 4段階 (3、6、9、12mm) の刈り高さそろえ

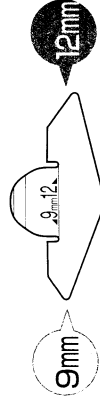
取り付け・取りはずしかた

アタッチメントご使用の場合は、正しく取り付けられていることを確認する。

※髪の切り過ぎの原因になります。

1 刈り高さを決める

【例：イラストは12mmの場合】

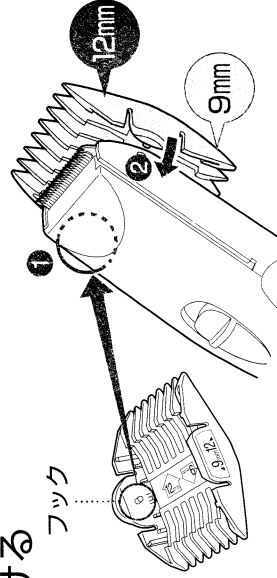


2 ①片側のフックを合わせ ②取り付ける

選んだ刈り高さアタッチメントに

- ①片側のフックを合わせ
- ②取り付ける

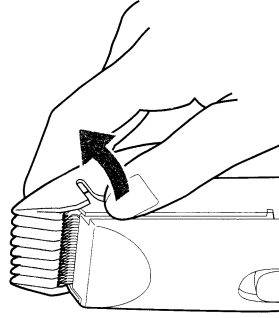
フック



はずすときは

親指をかけて、

3 片側ずつはずす



ナチュラルアタッチメントについて

- 用途 ▶ 髪量の調整 (ボリューム落とし)、毛先のナチュラル仕上げ
 - 機能 ▶ 髪の内側からのスキ刈り
(カットできる髪の長さの目安：30～70mm)
- ※約30mm以下の髪の長さの場合、カットできないことがあります。

- スイッチを「切・充電」にして、アタッチメントを取り付け・取りはずしする。
- アタッチメントご使用の場合は、正しく取り付けられていることを確認する。

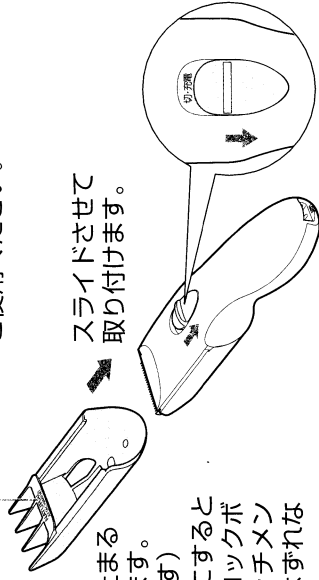
※髪の切り過ぎの原因になります。

取り付けかた

ナチュラルアタッチメントであることをご確認のうえ、ご使用ください。

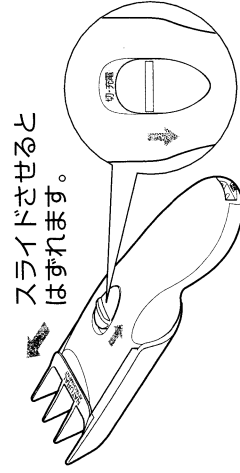
アタッチメントが止まる
ところまで動かします。
(カチツと音がします)

※スイッチを「入」にすると
アタッチメントロックボ
タンによりアタッチメン
トが固定され、はずれな
くなりません。



取りはずしかた

スライドさせると
はずれます。



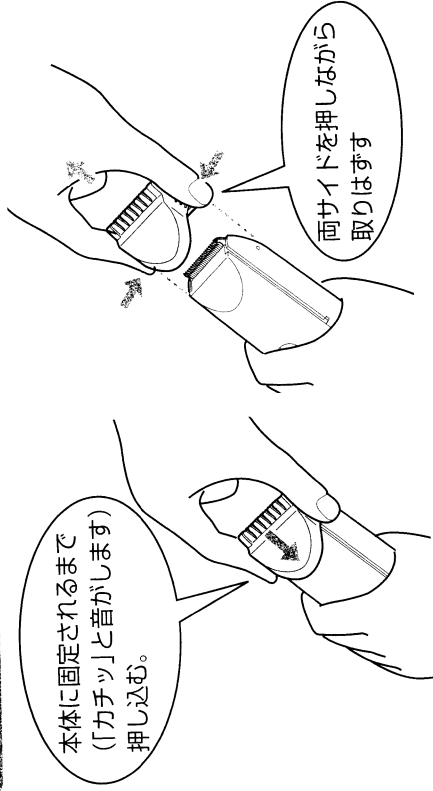
スキヤリアタッチメントについて

- **用途** ▶ 表面の段差ほかし/髪量の調整 (ボリューム落とし)
- **機能** ▶ 表面のスキヤリ

取り付け・取りはずし

アタッチメントご使用の場合は、正しく取り付けられていることを確認する。

※髪の切り過ぎの原因になります。



カットする頭部のなまえ



ご注意
スキヤリアタッチメントは他のアタッチメントと使い方が異なります。
P.17を参照してください。

カットの前の準備

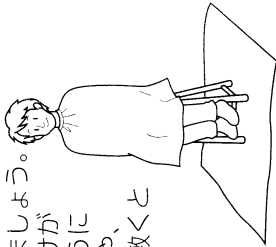
カットの前にタオルやケープまたはスキカルハット (別売) をかけ、髪を充分とかしてください。



髪は濡らさないでください。(整髪剤や汚れを落とすしてから、髪が乾いた状態で)

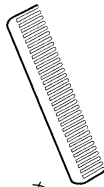
イスは

なるべく座る位置の高いものを準備しましょう。
あと片付けが簡単なようにビニールや、新聞紙を敷くと便利です。



クシは

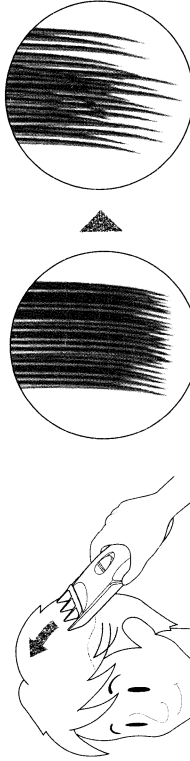
幅が大きめで厚みのあるものをおすすめします。



基本的なヘアカットのしくみ

ヘアカットのしくみ

● 髪の毛の内側からスキヤリをします。頭皮に近い根元の部分はカットされません。

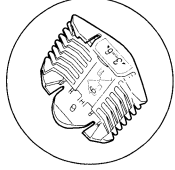


刈り高さを調整してカット

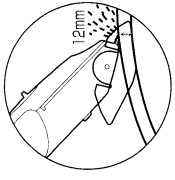
- 設定した刈り高さ以下に切り過ぎません。



毛の流れと
反対方向にカット



刈り高さアタッチメント
● 3mm / 6mm



刈り高さアタッチメント
● 9mm / 12mm

- 設定した刈り高さより実際の毛の仕上がりは長めになります。

設定	毛の仕上がり長さ
12mm	12~14mm程度
9mm	9~11mm程度
6mm	6~8mm程度
3mm	3~5mm程度
アタッチメントなし	約1mm以下

注意

- で使用の前に刃の破損がないか確認する。守らないと肌を傷つける原因になります。
- 耳や肌に凹凸がある部分（コブ、傷、できものなど）に直接刃を当てない。耳や肌の凹凸部を傷つける原因になります。
- 肌に刃を強く押しつけない。肌を傷つける原因になります。



左図のように本体を反対向きで使用しないでください。切り過ぎる原因になります。

ちみ上げスリなど揃える



アタッチメントを付けず、直に刃でカット
※アタッチメントをはずした状態の場合、仕上がりは約1mm以下になります。

クシをガイドにはみ出す毛をカット

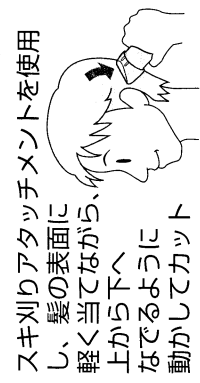


刃刈り・刈り上げ部分



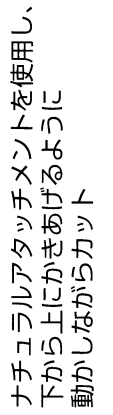
刈り高さアタッチメントを使用

表面の段差をほかさ



スキ刈りアタッチメントを使用し、髪表面に軽く当てながら、上から下へなでるように動かしてカット

髪をすく（髪量を少なくする）



ナチュラルアタッチメントを使用し、下から上にかきあげるように動かしながらカット

- ※ で使用になる前に刃に必ず注油してください。(P.6参照)
- ※ 髪をすくときは必ず、ナチュラルまたはスキ刈りアタッチメントを取り付けているか確認してください。髪を切り過ぎる原因になります。
- ※ ナチュラルアタッチメントでは、約30mm以下の髪の長さの場合、カットできないことがあります。

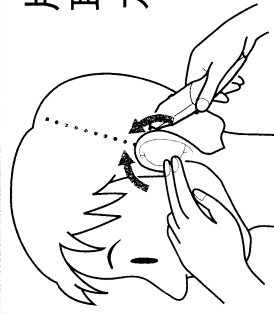
かんたんなカット (切り揃えるだけのカット)

1 クシでとがす

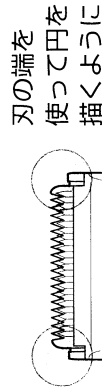


毛の流れにそって
クシできれいにとがす

2 耳まわりのそろえ



片手で耳をたたんで、
耳の前と後ろから少しずつ
カット



⚠️注意

- 耳や肌に凹凸がある部分 (コブ、傷、できものなど) に直接刃を当てない。
耳や肌の凹凸部を傷つける原因になります。
- 肌に刃を強く押しつけない。
肌を傷つける原因になります。

3 エリ足のカット



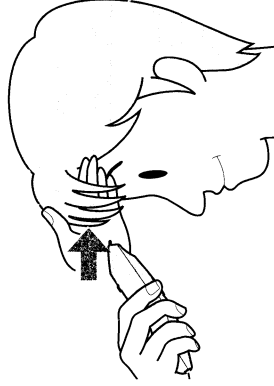
指でカットするラインにそっ
て髪を押さえる。
指をガイドに少しずつカット

4 耳の上～えり足のカット



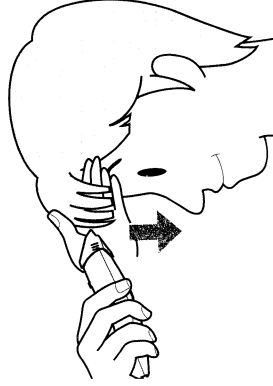
耳の上からエリ足を
つなぐようにカット。
生え際のラインに
そって少しずつ
カット

5 前髪のそろえ



前髪はまず毛先の
カットする長さを
決めます
手で前髪をすく、指のライン
をガイドにして少しずつカット。

6 前髪のスキ刈り



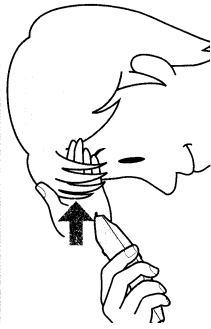
前髪を軽く自然な
感じにするには、
スキ刈りアタッチ
メントを付け、毛先
1cmくらいをすく

お願い：切れ味を保つため、カットの合間に毛クズを取り除き、刃に注油を行ってください。(P.30～33参照)

ショートヘア（つづき）

4 前髪のそろえ

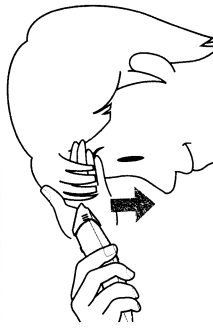
→アタッチメントをはずす



指で髪をとり
長さを決めてカット

5 前髪のスキ刈り

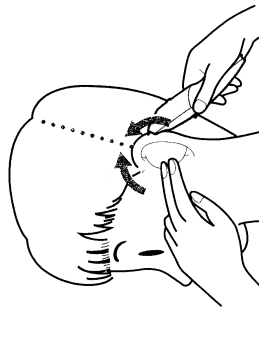
→スキ刈りアタッチメントを
セット



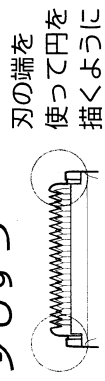
スキ刈りアタッチメン
トを取り付けて

6 耳まわりのそろえ

→アタッチメントをはずす



片手で耳をたたんで、
耳の前と後ろから
少しずつ



刃の端を
使って円を
描くように

⚠️ 注意

- 耳や肌に凹凸がある部分（コブ、傷、できものなど）に直接刃を当てない。
耳や肌の凹凸部を傷つける原因になります。
- 肌に刃を強く押しつけない。
肌を傷つける原因になります。

7 エリ足・モミアゲ・スノのそろえ

→アタッチメントをはずす



耳からのラインに
合わせて

刃先は肌に直接当てます。

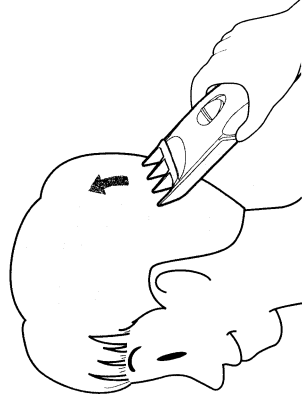
8 全体の仕上げ

→ナチュラルアタッチメントを
セット

ナチュラルアタッチメントである
ことをご確認のうえ、ご使用くだ
さい。

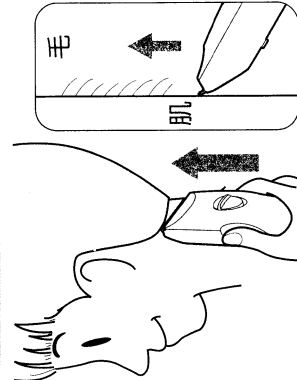
下から上へかきあげ
るように動かす

ナチュラルアタッチメントで全体
的に内側からスキ刈りをして自然
な感じに仕上げる

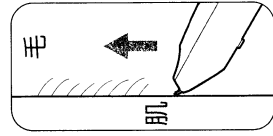


9 ウブ毛剃り

→アタッチメントをはずす

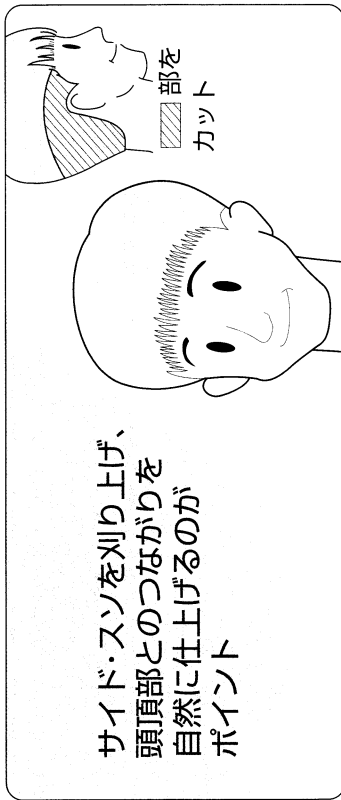


刃を肌に軽く当て、
毛の流れに逆らう
ように



刈り上げヘアー

アタッチメントを必要に応じて付け変えて▶P.12、13参照

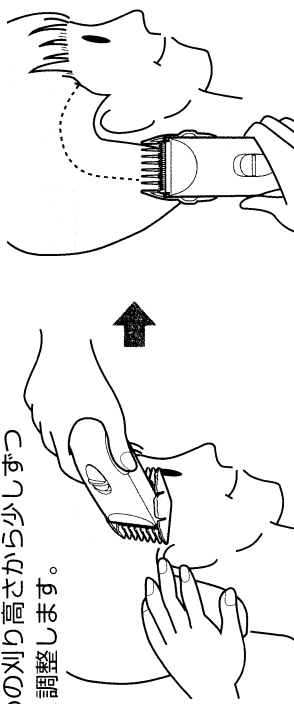


サイド・スンを刈り上げ、
頭頂部とのつながりを
自然に仕上げるのが
ポイント

1 耳まわりのそろえ → 刈り高さアタッチメントをセット

刈り高さアタッチメント
トでカット 生え際から5cm程度
まで刈り上げカット

長めの刈り高さから少しずつ
短く調整します。

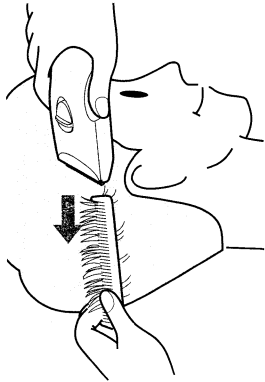


2 エリ足、スンのそろえ → 刈り高さアタッチメントをセット



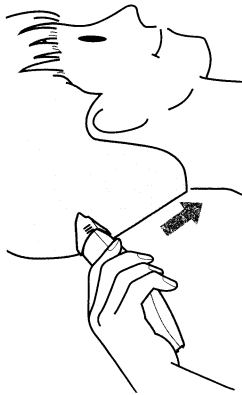
刈り高さアタッチメン
トでカット
最後は浮かすようにカットします。

3 つなぎめのそろえ → アタッチメントをはずす



クシですくい上げ
少しずつカット

4 つなぎめを自然に仕上げる → スキ刈りアタッチメントを
セット



スキ刈りアタッチメン
トでつなぎ目をぼかさ
ように整える

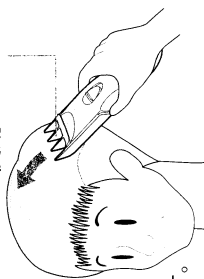
5 前髪～頭頂部

髪の生え際から頭頂部に向かい、
下から上へ動かす
全体的に内側からスキ刈りをして
自然な感じに仕上げる

- 全体の髪量バランスを確認しながら
カットしてください。
- ※ 髪を手でかきあげてカットしたり、
同じ箇所を何回もカットされると、
髪量がうすくなり過ぎることがあります。

→ ナチュラルアタッチメントを
セット

ナチュラルアタッチメント
であることをご確認のうえ、
ご使用ください。



お願い：切れ味を保つため、カットの合間に毛クスを取り除き、刃に
注油を行ってください。(P.30～33参照)

丸刈り

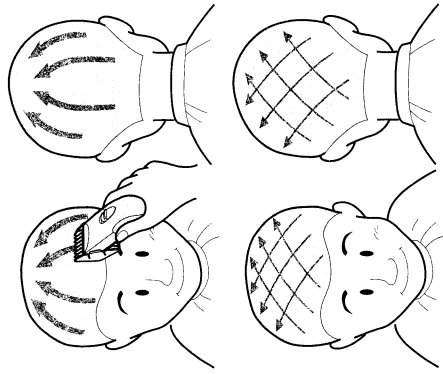
⚠️ 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 耳や肌に凹凸がある部分（コブ、傷、できものなど）に直接刃を当てない。 耳や肌の凹凸部を傷つける原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 肌に刃を強く押しつけない。 肌を傷つける原因になります。

刈り高さアタッチメントを取り付けて ▶ P.12参照



耳まわり、エリ足を
スツキリ
そろえるのが
ポイント

1 刈り高さそろえ



刈り高さアタッチメントを
→ セット

頭頂部に向けて ゆっくりカット

- アタッチメントの先は
頭皮に付けながら

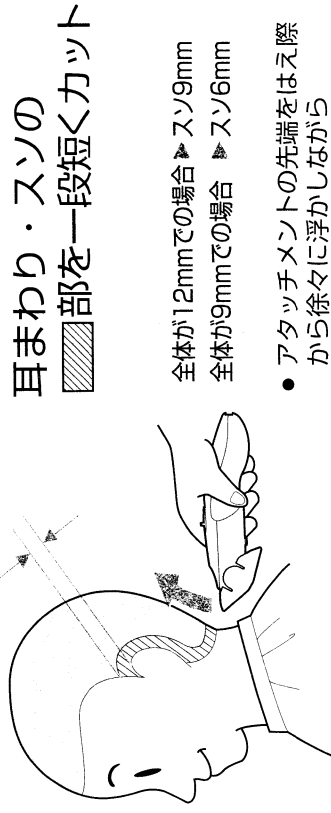
ポイント

刈り残しのないようにいる
いるな方向から交差させて
ください

2 スノの仕上げ

刈り高さアタッチメントを
→ セット

約2cm



耳まわり・スノの ▨部を一段短くカット

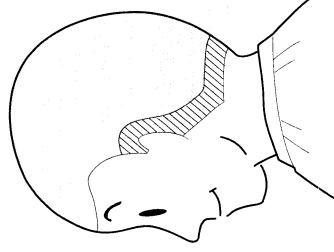
全体が12mmの場合 ▶ スノ9mm
全体が9mmの場合 ▶ スノ6mm

- アタッチメントの先端をはえ際
から徐々に浮かしながら

ポイント

手首を曲げる感じで
浮かせてください

約2cm



お願い：切れ味を保つため、カットの合間に毛クズを取り除き、刃に
注油を行ってください。(P.30～33参照)

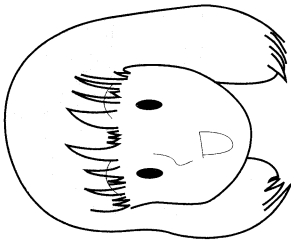
3 耳まわり、エリ足などのそろえ

- 耳まわりのそろえ P.22参照
- エリ足・モミアゲ・スノのそろえ P.23参照

女性の簡単なカット

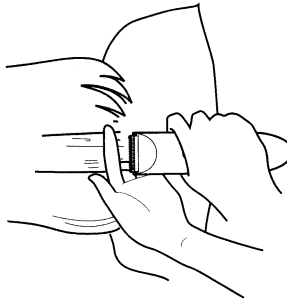
スキヤリアタッチメントを必要に応じて取り付けて▶P.14参照

きちんとそろった
前髪と、スソが
ポイント



1 スソのそろえ

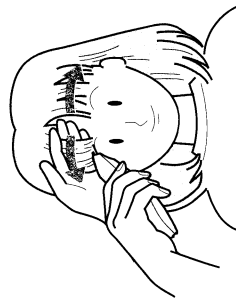
→アタッチメントをはずす



カットする長さを決め、
毛束をまっすぐ
引っぱる

2 前髪のそろえ

→アタッチメントをはずす



中央から両サイドに向かって
矢印方向に
少し丸みを持たせる

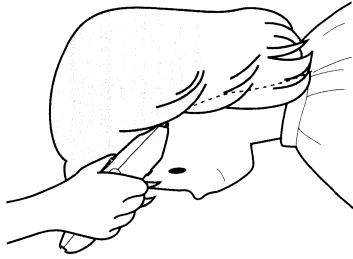
3 サイドのそろえ

→アタッチメントをはずす

前髪からスソの
ラインをなめらかに
つなぐように

ポイント

クシでとかしながら長さを
確認しななめにカットして
ください



4 全体のスキヤリ

→スキヤリアタッチメントを
セット

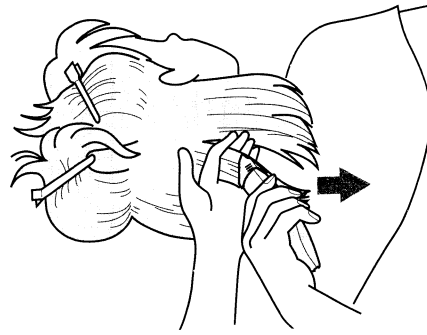
スキヤリアタッチメントが取り
付けられているかを確認する。
(髪の切り過ぎの原因になります)

外側の髪をピンなどで止め

内側の髪をスキヤリ
する

ポイント

全体のバランスを見ながら
スキヤリしてください



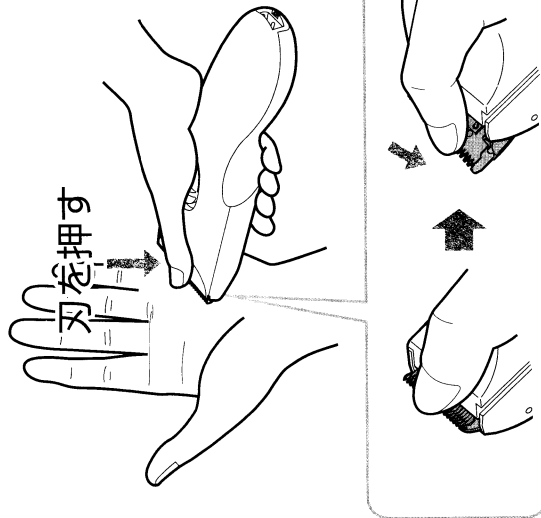
お願い：切れ味を保つため、カットの直前にトリクスを取り除き、トリ
注油を行ってください。(P.30) (33参照)

使い終わったら

スイッチを「切・充電」にし、器具用ブラシを本体から抜いて本体をお手入れをする

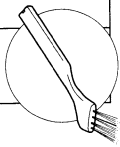
注意

※刃が飛び出さないように、もう一方の手を添えてください。



- 刃の掃除は、毎回行ってください。
(行わないと切れ味が悪くなります)

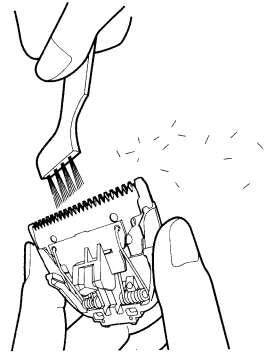
ブラシ掃除の場合



水洗い掃除の場合



刃

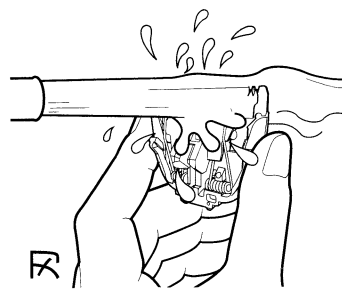


刃の間

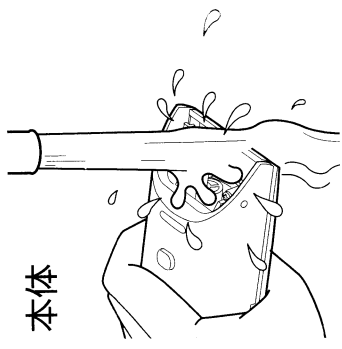


- 掃除用レバーを押さえながら

刃



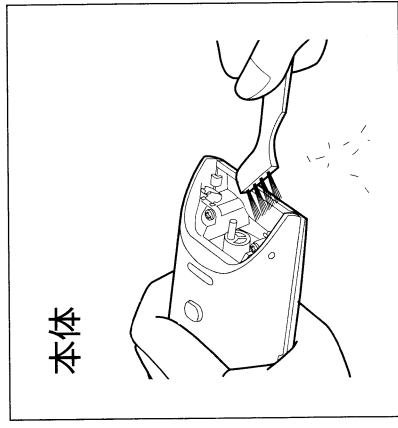
本体



- 熱湯での水洗いはしないでください。
- 水洗いでとれない場合は、ブラシ掃除を行ってください。

警告

- 交流式では風呂・シャワー室での使用や水洗い掃除を絶対にしない。
感電・発火・ノイズの恐れがあります。



本体



本体を軽く4~5回振り、
本体・刃の水滴を十分に
ふきとり、乾燥させる

水抜き穴

- WASHABLEの表示を上にし、下にタオルなどを敷いて乾燥させてください。
(水抜き穴から水を出すため。)
(防水性能に影響はありません)



● 印部分に1滴ずつ

- 注油は、付属のオイルまたは専用オイル(別売)をご使用ください。
※注油しないと刃がさびたり、切れ味不良等の原因になります。



刃の取り付け

- 1 刃取付部に
A フック部を
B はめ込む
- 2 押す
(「カチッ」と音が
します)

本体に固定されるまで

製品を廃棄するときのお願い

(ニカド電池リサイクルにご協力を)

警告

- 製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しない
火災・感電・けがのおそれがあります。
修理(電池交換など)はお買い上げの販売店
または、パナソニック電工お客様相談窓
口の修理ご相談センターにご相談ください。

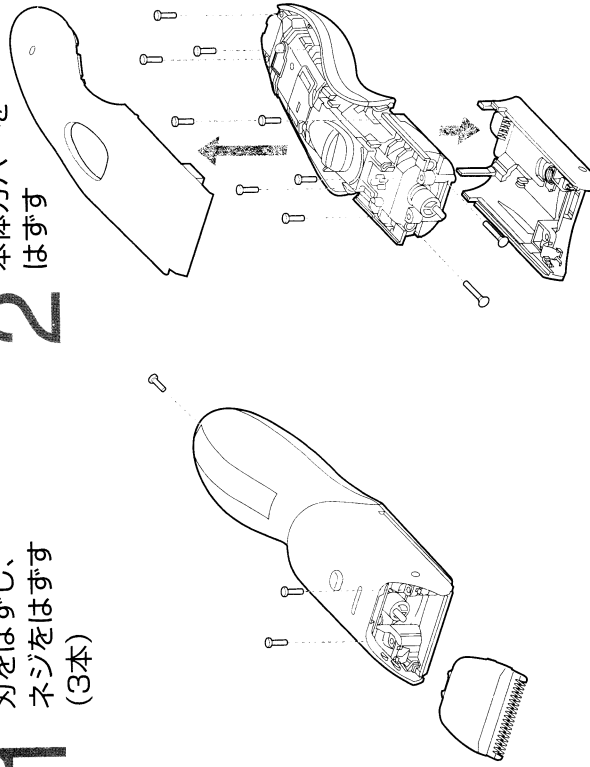
● この製品に使用しておりますニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み製品の廃棄に際してはニカド電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

ニカド電池の取り出し

- 必ず本体から器具用プラグ(アダプター)をはずして分解してください。
- 動作するときは止まるまでスイッチを入れて電池を使いきってください。
- ドライバーを用い、次の手順で分解してください。

1 刃をはずし、
ネジをはずす
(3本)

2 本体カバーを
はずす



本製品の使用電池

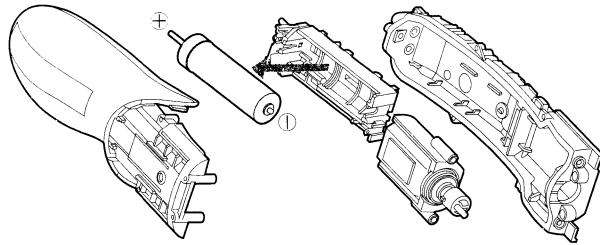
- 名称：円筒密閉型ニッケルカドミウム (Ni-Cd) 蓄電池
- 公称電圧：DC1.2V
- 数量：1本



ニカド電池はリサイクルへ

この図は、製品を廃棄するための図であり、修理用の図ではありません。
分解した場合、修復は不可能です。

3 刃取付台と下カバーを
はずし、
駆動部を抜き取る



4 ニカド電池を
取り出す

- 取り出した電池は、
⊕⊖端子をショート
させないように注意
してください。

定格・仕様

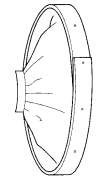

電源方式	充電・交流式
充電時間	8時間
定格電圧	AC100V 50-60Hz
使用電池	ニカド蓄電池 (600mAh)
コードの長さ	約1.8m
定格容量	5VA
消費電力	約4W (交流使用時)
	約1W (充電時)
質量 (重量)	本体約160g (アタッチメント含まず)

蓄電池の寿命と交換

- 寿命：約1カ月に2回の充電で3年程度 (ただし、保証は1年) です。また、フル充電しても使用回数が極端に少なくなかった場合は寿命と考えられます。
(蓄電池寿命は使用・保管などの状態により大きく変化します。)
- 交換：蓄電池の交換は必ずお買い上げの販売店または、パナソニック電工お客様ご相談窓口の修理ご相談センターにご相談ください。

替刃・別売品のご紹介

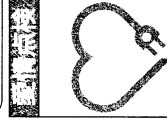
最寄りの販売店でお買い求めください。

替刃	スキカルハット	専用オイル (滴下式) 50mL
		
ER9103	ER006	ES003P

修理を依頼される前に

下記点検をお願いします

症状	考えられる原因	処置
切れ味が悪くなった	刃の寿命 約2年 (1回あたり約20分、1月2回使用として) 刃のお手入れがされていない	販売店で替刃をお買い上げください 刃の掃除と注油をする (P30～33参照)
動かない	充電されていない 使用中に充電切れになった スイッチが「入」のまま放置されていた	充電する (P8～9参照) スイッチを「切・充電」にし、1分以上充電してから使用する
コードを接続しても動かない	スイッチが「入」の状態になっていない 器具用プラグが本体に確実に取り付けられていない	スイッチを「切・充電」にし、充電する (P8～9参照) 器具用プラグを本体にしっかりと差し込み充電表示ランプ点灯を確認
充電できない	蓄電池の寿命 (約3年)	販売店に蓄電池の取替えをご依頼ください
充電しても10分程度しか使えない	処置後なお異常がある場合は、本体と充電器をセットで点検をご依頼ください	



長年ご使用のカットモードの点検をぜひ!

- こんな症状はありませんか?
- ・コードやアダプターが異常に熱い。
 - ・動作中に異常な音・振動がする。
 - ・本体や充電器が変形していたり、こげくさい臭いがする。

お願い
故障や事故防止のため、使用を中止し、アダプターをコンセントから抜いて、必ず販売店にご相談ください。